2025年12月11日

各　位

会 社 名　積水化学工業株式会社
代表者名　代表取締役社長　　加藤 敬太
（コード番号 4204　東証プライム）
問合せ先　代表取締役専務執行役員 清水 郁輔
電話番号　03-6748-6467

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第3四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1．特別損失（減損損失等）の計上について

微生物を活用して可燃性ごみをエタノールに変換する技術（以下、ＢＲエタノール技術）の実用化・商用化を推進していた連結子会社（積水バイオリファイナリー株式会社）は、岩手県久慈市のプラントにおいて、ＢＲエタノール技術の実用化の目処は立ちましたが、商用化については一旦見送り、本プラントを撤収、清算することとしました。これに伴い、単体決算及び連結決算において、下記の特別損失を計上する見込みです。

【単体】	関係会社株式評価損	9,358百万円
	貸倒引当金繰入額	11,228百万円
	計	20,586百万円
【連結】	減損損失	14,829百万円

（連結決算においては、上記の単体における損失は相殺消去されます）

2．実用化・商用化について

実用化につきましては、ＢＲエタノール技術にてエタノールを連続生産できることを確認すると同時に、更なるコストダウンにつながる技術課題も明確にすることができました。しかしながら、現在の第一世代バイオエタノールの市場価格に、資源循環価値（資源循環コスト）を付加した価格を市場が受容するには、今暫く時間を要すると判断し、商用化については一旦見送ることとしました。

今後は、明らかになった技術課題を解決し、更なるコストダウンを図ると共に、獲得したＢＲエタノール技術の知見や成果を、他の新技術開発にも展開してまいります。

尚、2025年10月30日に公表した2026年3月期通期の業績予想の修正は行いません。

以　上